

## 2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	建築コスト小委員会		主 査 名：岩松準 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築社会システム委員会		委員長名：安藤正雄
設 置 期 間	2010 年 4 月 ～ 2014 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本小委員会は、建築プロジェクトの価値とは何で、それを如何にして高めるかについて、建築生産コスト、積算技術、コンストラクション・マネジメント、ライフサイクル、サプライチェーン、ファイナンス、発注調達方式、経済・市場、生産技術の革新など、多様な切り口から調査分析することを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 明治大正昭和期の建築経済、建築生産、産業組織、積算システム等の調査研究</li> <li>・ 先進諸外国の建築コスト管理等の調査研究</li> <li>・ 建築コスト情報のあり方についての研究</li> <li>・ 積算機能に関する研究</li> </ul>		
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：あり</p> <p>岩松準 (主査；建築コスト管理システム研究所)、橋本真一 (幹事；建設物価調査会)、木本健二 (幹事；芝浦工業大学)、磯部正 (国土交通省)、伊藤一義 ((株)日本設計)、大島和義 (ナカノフドー建設)、奥山裕史 (三井造船)、小幡敏信 (本田技研工業)、楠山登喜雄 (フタバエンジニアリング)、原田誠 (OPM)、松本光平 (明海大学名誉教授)、山崎弘貴 (フタバエンジニアリング)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)			
2011 年度予算	60,000 円	<p>ホームページ公開の有無：有り</p> <p>委 員 会 HP ア ド レ ス : <a href="http://news-sv.aij.or.jp/keizai/cost/">http://news-sv.aij.or.jp/keizai/cost/</a></p>	

項 目	自己評価
委員会開催数	8 回 (年度内計画を含む)
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	<p>1. 建築コスト・ワークショップV「建築コストのタテマエ・ホンネを語る」 参加者数 46 名 (資料名：同上)</p>
目標の達成度 (当初の活動計画と 得られた成果との関係)	<p>1. 研究成果のとりまとめとして「建築コスト七不思議Q&amp;A (第1版)」の報告書を作成し、2011 年 2 月 24 日に学会本部会議室にてワークショップを開催した。なお、今後の研究成果は第2版として取りまとめる予定。</p> <p>2. 下記に関する議論と情報交換を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東日本大震災に関する資材費や労務費の状況</li> <li>・ 公共建築工事の共通費積算基準の改定の動向</li> <li>・ コストとプライス、建築コスト学術用語 (増補)</li> <li>・ 建築コスト研の英国調査 2011 の報告 (新しい積算基準 NRM の動向等)</li> <li>・ 韓国、台湾、日本の積算基準や職能に関する国際比較</li> <li>・ 第 15 回 PAQS 大会 (スリランカ開催) の報告</li> <li>・ 建築コスト・ワークショップの企画・資料作成等</li> </ul>
委員会活動の問題点 ・課題	<p>1. 外部との情報交換 (とくに情報発信が不足)</p> <p>2. 情報交換が主であり、建築コスト研究についての多元的な研究・分析アプローチについての認識が不足している</p> <p>3. コアメンバーの旅費不足 (大阪)</p>

--	--